



今回、インタビューに対応していただいたボランティアの皆さんと川島議員（写真左）、深田議員（写真右）

星や科学の楽しさを多くの人たちへ！

ディスカバリーパーク焼津天文科学館ボランティアの皆さん

議員が直接話を聞いて市民の本音に迫る「市民インタビュー」。

今回は、25周年を迎えたディスカバリーパーク焼津天文科学館のボランティアの皆さんを代表し、5名の方々にお話を伺いました。

ボランティアの活動内容について教えて！

ボランティアは主に「科学分野」と、「天文分野」の2種類があります。

科学分野では、科学工作やロボットプログラミングなどを子どもたちに教える手伝いをしています。

また、天文分野では、天文イベントや、天気の良い土日に星空観望会を開催しており、小型望遠鏡の操作を担当しています。

現在、市内外から65人が登録されていて、イベント内容など状況に

合わせて、交替で活動しています。



科学工作の様子

どうやって勉強するの？

科学工作は、研修のほか、短時間で簡単に出来るものを中心となっているので、事前に実際に作ってみて、手順を覚えてから、子どもたちに教えています。

ロボットプログラミングは特に知識が必要なので、ボランティアも事前に研修を受けてから参加出来るようになっていきます。

天文分野では、互いに知識を教えあったり、新人のボランティアは先輩と組むことで、星のことや

望遠鏡の組み立て方、扱い方を勉強していきます。

また、多くの方から人気の資格「星空案内人」の講座をディスカバリーパークが主催してくれるので、2年ほど勉強をして、知識を高める人もいます。



小型望遠鏡の操作を指導している様子

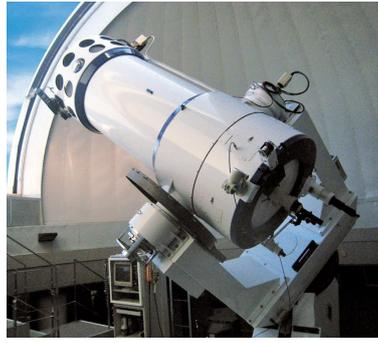
ボランティアになろうとしたきっかけは？

子どもの頃から、大きな望遠鏡で星を観ることが夢でした。

子どもの当時は日本平の近くに住んでいたのですが、プラネタリウム

を見に良く通いましたし、小さな望遠鏡を買って、本で見た宇宙や星座を見ていました。

大人になり、焼津に大型天体望遠鏡があるのを知り、木星とシューメーカー・レヴィ彗星の衝突の様子なども見せてもらい、やっぱり好きだったので、参加しました。



ディスカバリーパークの大型望遠鏡 (県内最大)

星にはどんな魅力が？

ふと夜空を見上げた時に、星や星座を知っていると、いつでも楽しめますよね。

例えば月。見ると「綺麗だね」で終わってしまいがちですが、よく観察すると、ウサギ模様は黒色をしています。何故でしょう？

月に小惑星が衝突して出来た大きなクレーターに、月の地下から溶岩が流れ込み、それが、黒くて、

ツルツとしていて、大きくて丸いという性質の玄武岩だったので、ウサギ模様はあんな風に見えます。知っていると、同じ月でもちよつと違いますよね。こんな風に、一歩踏み込んだ楽しみ方ができます。



月のウサギ模様の理由は

焼津市の良いところを教えてください！

焼津を一度離れてから戻ってきた時、温暖で住みやすい気候で、自然もあり、街並みも整備されているなど感じました。

また、焼津は空気が良いからと移住をされた方もおり、住みやすさがあるのだと思います。

行政や議会について期待していることは？

ターントクル子ども館も出来ま

したが、併せて、このディスカバリーパーク等も含めて、前からある施設も、もっと活用してもらえると嬉しいですね。

また、市内にどんなものがあるのかを、子どもたちにもっと教える機会があればと感じています。地域のお祭りや施設など、皆に知ってもらえれば、もっと盛り上がるんじゃないかと思っています。



インタビューの様子
(ディスカバリーパーク焼津 天文科学館にて)

市民の皆さんに知ってもらいたいことはある？

今後も天文現象はたくさんあると思うので、情報発信をしっかりとしていきたいと思っています。

また、プラネタリウムでの催し

もいろいろあり、たくさんの方が楽しめる内容になっていますので、ぜひお越しください！

インタビューに 答えてくれた皆さん



くめ ひさえ
桑久枝さん

むらた つとむ
村田 勉さん

さいとう ゆういちろう
斎藤 雄一郎さん

さいとう しげふみ
齊藤 滋史さん

のりつき よしあき
法月 喜明さん


ディスカバリーパーク焼津 天文科学館
焼津市田尻2968-1
TEL 0550-0800
平日 9時～17時
土日祝 10時～19時
(休館日あり)